

動物実験に関する自己点検・評価報告書（令和2年度）
独立行政法人酒類総合研究所

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 独立行政法人酒類総合研究所動物実験実施規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 「動物の愛護及び管理に関する法律」、「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」、 「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本方針」、「動物実験の適正な実施に向けたガイド ライン」、「動物の殺処分方法に関する指針」の趣旨に則り、機関内規程が適正に定めている。
4) 改善の方針、達成予定時期 令和2年度中の改正を目標とし、令和元年度に実施した外部検証の指摘に基づいた規程改正作業を行 なっている。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 独立行政法人酒類総合研究所動物実験実施規程、動物実験委員会委員名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 規程に従って、酒類総合研究所動物実験委員会が適正に置かれている。外部委員を依頼して3種のカ テゴリーの委員で委員会を構成している。
4) 改善の方針、達成予定時期 令和元年度に実施した外部検証の指摘にあるカテゴリーの兼務は解消し、委員の役割を明確化した。 令和2年度中に動物実験計画が委員から申請された場合の審査方法について、明確化する。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果

<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>独立行政法人酒類総合研究所動物実験実施規程、動物実験計画書様式、動物実験結果報告書様式、動物実験（終了・中止）報告書様式、動物実験計画（変更・追加）承認申請書様式、動物実験室設置承認申請書様式、施設等（飼養保管施設・動物実験室）廃止届様式</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>動物実験の実施に必要な規程及び各種申請書様式等が適正に定められている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>令和元年度に実施した外部検証の指摘に基づき、令和2年度中に規程改正し、動物実験の実施に必要な各種申請書様式をより適正に定める。</p>

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>該当なし。</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>規程で安全管理に特に注意を払うべき動物実験については、行わないこととしており、実施体制を定めていない。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当なし。</p>

5. 実験動物の飼養保管の体制

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>独立行政法人酒類総合研究所動物実験実施規程、実験動物飼養保管施設一覧、動物実験室設置承認申請書様式、施設等（飼養保管施設・動物実験室）廃止届様式、動物実験施設飼養・保管マニュアル</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p>

飼養保管施設等の設置と廃止に関する要件が規程に定められており、確認に必要な各種書式等も適正に定められている。また、飼養保管施設に動物実験施設飼養・保管マニュアルが定められている。

4) 改善の方針、達成予定時期

令和元年度に実施した外部検証の指摘に基づき、令和2年度中に規程改正し、機関管理体制をより明確化する。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

委員会に動物実験等に関して優れた識見を有する者を外部委員として加え、外部検証を活用し、積極的に動物実験の機関管理体制の適正化に取り組んでいる。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

令和元年度動物実験結果報告書、動物実験委員会議事録

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

規程に基づき、理事長の諮問機関として委員会を開催し、適正な活動を実施している。

4) 改善の方針、達成予定時期

令和元年度に実施した外部検証の指摘に基づき、令和2年度中に動物実験の継続方針を検討し、委員会で細部にわたり、3Rの実効性を担保できる審査方法を整える。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

令和元年度動物実験結果報告書、動物実験委員会議事録、動物実験の自己点検票、動物実験計画一覧、動物実験実施結果の集計一覧、動物実験委員会審査状況

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

規程に基づき、結果等報告書と動物実験自己点検票により、動物実験の実施状況を把握した。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当なし。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験を行っていない。

2) 自己点検の対象とした資料

該当なし。

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

安全管理に注意を要する動物実験を行っていない。

4) 改善の方針、達成予定時期

特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

実験動物の飼養保管状況の記録、動物実験施設飼養・保管マニュアル、実験動物飼養保管状況の自己点検票、動物納品記録、微生物モニタリング記録、災害対策マニュアル、緊急連絡先

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

実験動物は適正に飼養保管されていた。

4) 改善の方針、達成予定時期

令和元年度に実施した外部検証の指摘に基づき、飼養保管施設と実験エリアの境界に物理的逸走防止策を講じた（ネズミ取り等）。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験施設飼養・保管マニュアル、飼育室・測定室の大掃除マニュアル、実験動物飼養保管状況の自己点検票、飼養保管施設一覧、飼育室温湿度記録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 実験動物飼養保管状況の自己点検票及び管理者による報告、実地確認によって、適正に維持管理されている事を把握している。
4) 改善の方針、達成予定時期 令和元年度に実施した外部検証の指摘に基づき、旧来から使用の飼養保管施設について、理事長承認手続きを行った。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 教育訓練実施状況の記録、日本実験動物学会実験動物管理者等研修会受講証明書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 教育訓練実施状況の記録によって、年1度、e-learningを活用した教育訓練が実施されていることを確認した。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験に関する自己点検・評価報告書 酒類総合研究所ホームページ (https://www.nrib.go.jp/gui/moral/moral_info.htm)
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 規程、自己点検・評価報告書、動物実験委員会審査状況、実験動物飼養保管数、動物実験で得た研究成果をホームページで情報公開している。
4) 改善の方針、達成予定時期 令和元年度に実施した外部検証の指摘に基づき、令和2年度より、国動協と公私立大学実験動物施設協議会が推奨する情報公開項目についても掲載を検討する。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

令和元年度、動物実験を8月で終了し、以後、動物飼育実績はない。

動物実験委員会審査状況

	動物実験計画書				
	申請	承認	新規	継続	終了
令和元年度	1	1	0	1	1

実験動物飼養保管数

	マウス	ラット	合計
令和元年度	0	0	0